

# 論文紹介にはペライチを使いましょう！

## 【ペライチ作成のメリット】

- 言語化してまとめておくと、後で振り返るときに便利。  
(論文を書く理由と同じ。)
- 参加者同士共通の理解を得られます。
- 時間を圧縮できて、より濃いゼミになります。
- 簡潔にまとめる力はどんな業界職種でも重要。  
→論理力、伝える力を強化して、コミュニケーション力をアップ！一歩進んだ社会人へ！

目標①：30分以内に資料作成。

目標②：10分以内で話せるよう簡潔にまとめよう！

(②に関して、途中、議論を挟まず一人で喋り続けた、と仮定。)

## “論文タイトル”

著者名, 年, 雑誌名, ナンバー, ページ番号.

## 【アブスト】 (著者が一番言いたいこと)

## ★まとめる力の強化

→後で見たとき, ここを読むだけで論文の内容が分かるように!

## 【ゴール】 (なぜこの研究をしたのか? この研究で何を達成したいのか?)

## ★仕事の軸を明確にすることによって, 話を脱線させない力の強化. (生産効率のアップ)

→発表中, 「結局何が言いたいんだっけ?」と時が止まることがないように!

## 【オリジナリティ】 (競合との差別化ポイント)

→ここがないと新しいことはできませんし, 提案は通りません.

→今, 「分かっていること」と「分かっていないこと」を意識しよう!

## 【図】 (結果を示す図, 1枚で表せなければ適宜追加)

人は, パッとみて目に入りやすいものを一番最初に見ます.

例えば, 文章より図の方が目に入りやすいです.

## 【ロジック】 (①下準備, ②観測 (or計算) から結果までの解析, ③結果から結論までの議論)

## ★論理力の強化

①観測条件, またはシミュレーションの初期条件などの基本情報.

②解析のプロセス (どんな手順で, 結果が出てきたのか?)

③議論の要約

## 【コメント】 (もしあれば, その他, 注意すべきポイント)

- ・解析などで注意した点.
- ・全体の流れからはずれた副産物的な結果.
- ・どうしても書いておきたいことなど, もしあれば書く.

## 【感想】 (気づいたこと)

## ★自己発信する力の強化, レフェリング力の強化,

論文を読んで, 初めて知ったこと, 理解できなかったこと, 矛盾を感じたこと, 次の研究で使えそうなことなど, 何でも良い.

→自分の現時点での考えに対して, 他の参加者からの意見をもらう.

## 「フォーマット例」

- ・ 出典情報
- ・ アブスト
- ・ ゴール
- ・ オリジナリティ
- ・ ロジック
- ・ 発表者の意見

以上の項目が含まれていれば, 資料のデザインは自由です. 見やすければ見やすいほどGOOD!!